

2011年度(平成24年3月期) 第1四半期連結業績概要

大日本住友製薬株式会社
2011年7月29日

経営成績

金額単位：億円

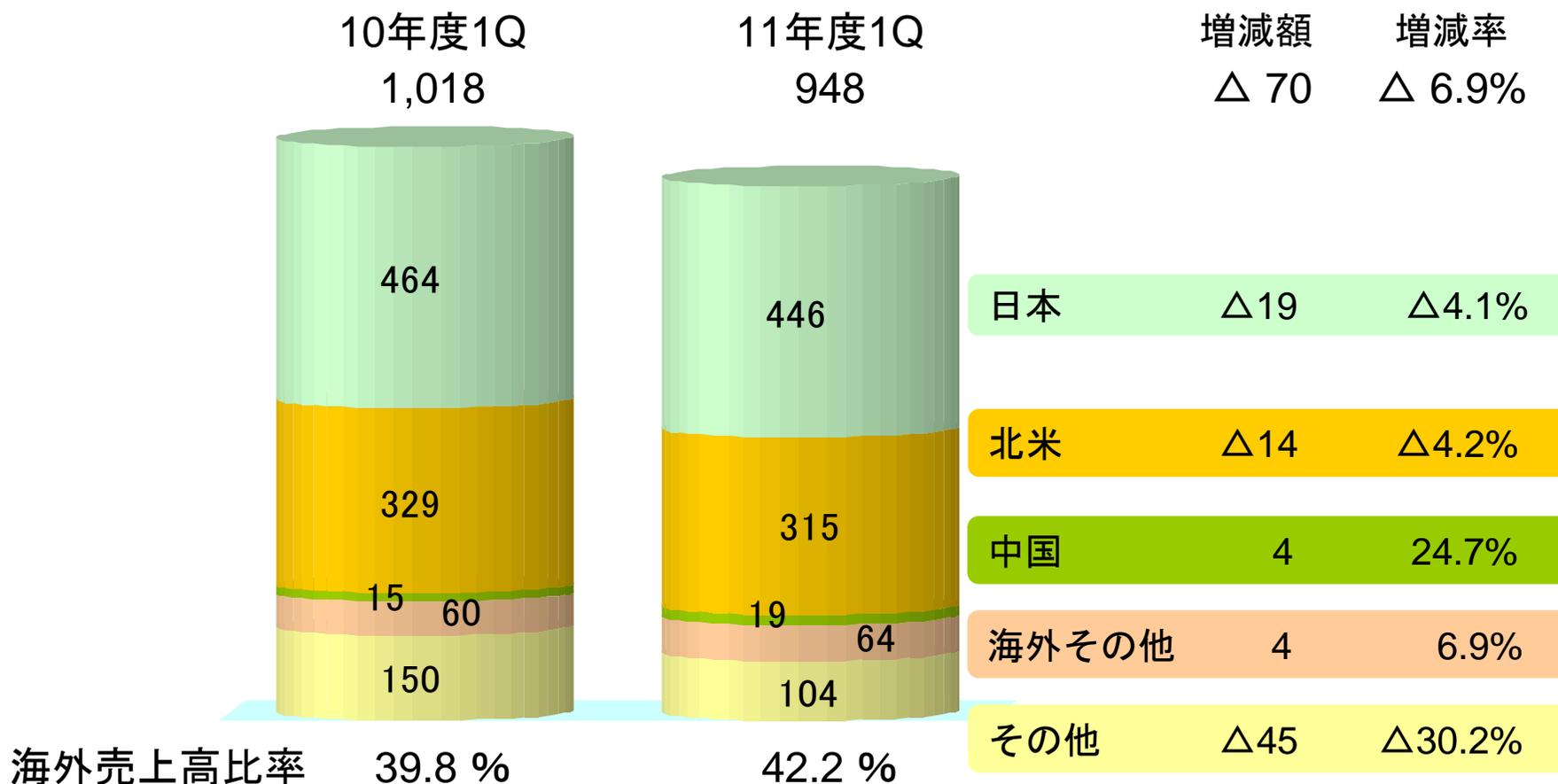
	10年度1Q	11年度1Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,018	948	△ 70	△ 6.9 %
売上原価	326	258	△ 68	△ 20.9 %
売上総利益	692	690	△ 2	△ 0.2 %
販売費及び一般管理費	544	562	18	3.4 %
販売費・一般管理費	399	426	27	6.8 %
研究開発費	145	136	△ 9	△ 6.0 %
営業利益	148	128	△ 20	△ 13.5 %
経常利益	148	132	△ 17	△ 11.3 %
四半期純利益	93	81	△ 12	△ 12.8 %

(注) 1. 記載金額は億円未満を四捨五入しております。

2. 売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて記載しております。

セグメント別売上高

金額単位：億円



【北米】

・現地通貨ベースでは増加したものの円高の影響を受け減収

【その他事業】

・ペットフードの売上計上額を手数料相当部分のみとしたため減収(当第1四半期まで)

日本セグメントの売上高

金額単位：億円

	10年度1Q	11年度1Q	前年同期比	
			増減額	増減率
アバプロ	18	23	6	31.5 %
ロナセン	22	24	2	8.3 %
プロレナール	37	39	1	3.5 %
戦略品 計	77	86	9	11.3 %
トレリーフ	8	12	4	58.6 %
ミリプラ	4	3	△ 0	△ 7.0 %
シュアポスト	—	1	1	—
メトグルコ(メルビン含)	11	16	5	42.7 %
新製品 計	23	32	10	42.3 %
アムロジン	109	92	△ 17	△ 15.4 %
ガスモチン	51	52	0	0.7 %
メロペン	33	30	△ 3	△ 9.3 %
アムビゾーム	11	10	△ 1	△ 4.6 %
リプレガル	11	21	10	89.3 %
その他	149	122	△ 27	△ 18.2 %
日本セグメント	464	446	△ 19	△ 4.1 %

11年度2Q(5/11公表)	
売上予想	進捗率
55	41.9 %
61	39.3 %
83	46.6 %
199	43.1 %
22	55.0 %
8	43.5 %
1	54.7 %
25	64.8 %
56	57.7 %
163	56.5 %
103	50.3 %
54	55.9 %
24	43.3 %
36	58.4 %
249	49.0 %
884	50.4 %

(注) 品目別の売上高は、国内売上高をリベート控除前で記載しております。

北米・中国セグメントの売上高

金額単位：億円
(カッコ内の数字はM\$)

	10年度1Q		11年度1Q		前年同期比		11年度2Q (5/11公表)			
					増減額	増減率	売上予想	進捗率		
ラツーダ	—		(35)	29	(35)	29	—			
ルネスタ	(161)	146	(124)	102	(△ 37)	△ 44	△ 30.2 %	(280)	238	42.7 %
ゾペネックス	(127)	115	(137)	113	(10)	△ 3	△ 2.2 %	(194)	165	68.2 %
ブロバナ	(25)	23	(33)	28	(8)	5	19.6 %	(61)	52	52.9 %
オムナリス	(11)	10	(16)	13	(5)	3	26.9 %	(38)	32	41.2 %
工業所有権収入	(25)	22	(25)	21	(1)	△ 1	△ 6.3 %	(27)	23	90.6 %
その他	(14)	12	(15)	11	(2)	△ 2	△ 13.9 %	(32)	27	39.5 %
北米セグメント	(363)	329	(385)	315	(22)	△ 14	△ 4.2 %	(679)	577	54.6 %
メロペン		12		16		4	33.4 %		30	54.6 %
その他		3		2		△ 0	△ 13.7 %		6	40.4 %
中国セグメント		15		19		4	24.7 %		36	52.2 %

セグメント別経営成績

金額単位：億円

		医薬品事業					合計	その他	合計	
		日本	北米※1	償却費等※2	中国	海外その他				
11 年度 1 Q 実績	売上高	446	315	—	19	64	844	105	948	
	売上原価	109	30	—	4	35	178	81	258	
	売上総利益	337	285	—	14	29	666	24	690	
	販売費・一般管理費	156	177	71	6	1	412	14	426	
	セグメント利益	181	108	△ 71	8	28	255	10	264	
	研究開発費									136
	営業利益									128
10 年度 1 Q 実績	売上高	464	329	—	15	60	868	150	1,018	
	売上原価	120	31	16	2	30	200	126	326	
	売上総利益	344	297	△ 16	13	30	668	24	692	
	販売費・一般管理費	156	139	82	5	1	383	15	399	
	セグメント利益	188	158	△ 98	8	29	285	8	293	
	研究開発費									145
	営業利益									148
増 減	売上高	△ 19	△ 14	—	4	4	△ 25	△ 45	△ 70	
	セグメント利益	△ 7	△ 50	27	0	△ 0	△ 30	1	△ 29	
	営業利益									△ 20

※1. 特許権の償却費等取得原価配分の影響を除く

2. 特許権の償却費等

2011年業績予想

金額単位:億円

	2010年度 通期実績	2011年度 2Q予想	2011年度 通期予想
売上高	3,795	1,797	3,620
売上原価	1,100	501	1,038
売上総利益	2,695	1,296	2,582
販売費及び 一般管理費	2,385	1,207	2,412
販売費・一般管理費	1,704	901	1,792
研究開発費	682	306	620
営業利益	310	89	170
経常利益	286	84	155
四半期純利益	168	48	85

2011年度業績予想は、本年5月に公表した数値を変更しておりません。

米国子会社の2Q売上速報

金額単位：M\$

	11年度2Q (当初予想)	11年度2Q (実績速報)	11年度年間予想	
			売上予想	進捗率
ラツータ	47	41	120	34.2%
ルネスタ	280	261	535	48.8%
ゾペネックス	194	216	388	55.7%
ブロバナ	61	62	127	48.8%
オムナリス	38	34	75	45.3%
アルベスコ	22	17	48	35.4%
工業所有権収入	27	42	46	91.3%
その他	10	14	20	70.0%
合計	679	688	1,359	50.6%

臨床開発の現況① (2011年7月29日現在)

精神神経領域

■ 国内 ■ 海外

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
ラツーダ (SM-13496)	ルラシドン塩酸塩	統合失調症	カナダ				
		(上限用量変更)統合失調症:1日160mg	米国				
		統合失調症	日本				
		(新効能)双極性障害うつ	米国・欧州等				
		(新効能)大うつ(混合症状)	米国				
ステデサ	エスリカルパゼピン塩酸塩	てんかん(併用)	米国				
		てんかん(成人単剤)	米国				
DSP-8658	未定	アルツハイマー病	米国				
SEP-228432	未定	神経因性疼痛、うつ病	米国				
DSP-1053	未定	うつ病	米国				

ラツーダ(SM-13496):欧州は武田薬品との共同開発実施中(第Ⅲ相試験段階:統合失調症、双極性障害)

循環器・糖尿病領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
シュアポスト	レパグリニド	(新効能)2型糖尿病:TZD剤、BG剤併用	日本				
メトグルコ	メトホルミン塩酸塩	(小児用量追加)2型糖尿病	日本				
AS-3201	ラニレストット	糖尿病合併症	日本				※
DSP-8153	アムロジピンベシル塩酸塩 イルベサルタン	高血圧症/配合剤	日本				
DSP-8658	未定	2型糖尿病	米国				

今回変更部分は赤字で示しています

※は準備中

臨床開発の現況② (2011年7月29日現在)

呼吸器領域

■ 国内 ■ 海外

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
シクレソニドHFA Nasal Aerosol	シクレソニド	(新剤形)アレルギー性鼻炎	米国				
DSP-3025	未定	気管支喘息、アレルギー性鼻炎	日本				

がん領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
カルセド(国内販売名)	アムルビシン塩酸塩	小細胞肺がん	中国				
WT4869	未定	骨髄異形成症候群	日本		※		
		固形がん	日本				

※第Ⅰ/Ⅱ相の第Ⅰ相段階

その他の領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
SMP-986	afacifenacin	過活動膀胱	日本				
			米国・欧州				
プロレナール	リマプロストアルフアデクス	(新効能)手根管症候群	日本				
DSP-6952	未定	便秘型IBS、慢性便秘	日本				
DSP-1747	obeticholic acid	原発性胆汁性肝硬変(PBC)、 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)	日本		※		
DSP-5990	セフトロリン・フォサミル	MRSA感染症	日本		※		

※は準備中

■ 新規掲載品

今回変更部分は赤字で示しています

臨床開発 進捗状況 (2011年5月11日からの主な変更点)

- シュアポスト(レパグリニド):2011年5月発売
- ルラシドン塩酸塩(SM-13496):
米国/上限用量変更申請、第Ⅲ相に大うつ(混合症状)を新規掲載
カナダ/申請
日本/新規第Ⅲ相試験を準備中
- ラニレスタット(AS-3201):国内第Ⅱ相より第Ⅲ相準備中に変更
- プロレナール:国内第Ⅱ相に新規掲載
 - 特発性手根管症候群を対象に第Ⅱ相試験を開始(小野薬品との共同開発)
- WT4869:固形がんについて国内第Ⅰ相に新規掲載(中外製薬との共同開発)
- DSP-6952:国内第Ⅰ相に新規掲載
 - 消化管運動促進剤
- DSP-1747:国内第Ⅰ相準備中に新規掲載
 - FXR(Farnesoid X receptor) 作動薬(Intercept社より導入)
- DSP-5990:国内第Ⅰ相準備中に新規掲載
 - 抗生物質(武田薬品より導入)
- DSP-3235:開発中止により削除
- DSP-7238:開発中止により削除

LATUDA®(ルラシドン) 開発進捗状況①

米国(統合失調症)

- 上限用量追加(1日160mg)申請(6月)
- 継続中の主な試験
 - PEARL#3試験: プラセボ及び実薬(クエチアピンXR)対照第Ⅲ相試験
6週間投与部分終了、継続投与(1年)実施中
 - スイッチ試験: 2010年3Q開始、実施中
- 計画中の試験
 - メンテナンス試験: 2011年3Q開始予定
 - 20mg/日の低用量試験: 2012年2Q開始予定
 - 小児(10-17歳)対象のPK試験: 2011年3Q開始予定
 - 小児(13-17歳)対象の有効性試験: 2012年2Q開始予定

LATUDA®(ルラシドン) 開発進捗状況②

米国(双極性障害 他)

■ 双極性障害(うつ) 第Ⅲ相試験(PREVAIL試験)

- PREVAIL#1: プラセボ対照試験- 併用療法(リチウム/バルプロ酸に追加投与) 2009年4月開始
- PREVAIL#2: プラセボ対照試験- 単剤療法 2009年4月開始
- PREVAIL#3: プラセボ対照試験- 併用療法(リチウム/バルプロ酸に追加投与) 2010年12月開始

2012年、適応追加申請予定

■ 大うつ(混合症状)

- 2011年2Qに第Ⅲ相試験を開始

■ 計画中の試験

- 双極性障害メンテナンス: 2011年3Qに試験開始予定
- IMデポ剤

LATUDA®(ルラシドン) 開発進捗状況③

米国以外

- 日本： 統合失調症/新規第Ⅲ相試験を準備中
- カナダ： 統合失調症/申請(6月)
- 中国： 統合失調症/IND(治験届け)提出予定(2011年予定)
- 欧州： 統合失調症・双極性障害/武田薬品と共同開発実施中(第Ⅲ相試験段階)
英国は自社展開を検討

将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。

したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。